学校番号	327

令和８年度　芸術科（普通科）

教科	芸術	科目	書道演習	単位数	２単位	年次	３ 年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

書道を愛し、楽しむ心を持ち、様々な教材（古典、実用書など）を使い、多岐にわたって制作活動を行う。個性を意欲的主体的に表現し、自己表現の楽しさを追求する。

2　学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方.考え方を働かせ、生活や社会の中の多様な文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質.能力を次の通り育成することを目指す。

【知識及び技能】
作品制作の幅広い活動を通して、生涯にわたり書道を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、書道文化についての理解を深める。
【思考力、判断力、表現力等】
制作活動を通じて準備、段取り、状況判断などの大切さを学び、それらの活動が普段の生活にも生かせるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
積極的に制作活動に取り組み、日常生活をより良いものにする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	基本（筆の持ち方、道具の扱い方、心構え）を学び、古典（楷書・行書）の臨書に取り組み、古典の見方、捉え方を学び、再現する方法を習得することができる。	古典を正確に再現することは、とても奥深いことであることに気づき、緻密に計算されつくした古典に向き合い、自ら気づき、工夫しながら再現することができる。また、学んだことを生かし、自分の個性を表現することに繋げる努力をしている。	文字を書くことは、心を整えることであり、雑念なくただ美しい字を書くことに一生懸命になることは、すべての学習活動の基本だということを学び、自己表現の楽しさを見つけることができる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	漢字仮名交じりの書	漢字仮名交じりの書 臨書	a:漢字仮名交じりの書を構成する様々な要素や、名筆や現代の様々な書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解を深めている。また、目的や用途、意図に応じた効果的な表現の技能、漢字と仮名の調和等による全体の構成の技能を身に付けている。 B:目的や用途、表現形式に応じた全体の構成、感興や意図に応じた個性的な表現、現代に生きる創造的な表現について構想し工夫している。 c:主体的に漢字仮名交じりの書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	作品	プリント	振り返りプリント 観察
二学期	創作	自由課題作品制作 書道パフォーマンス	a:与えられた課題のみでなく、創意工夫をして作品を作り上げることができる。 b:大きな筆を用いて作品を作り上げるにはどのように動き、体全身を使うのかということを考え、作品で表現することができる。 c:主体的に創造的な学習活動に取り組もうとしている。	作品	プリント	振り返りプリント 観察
三学期	最終作品作り	絵手紙	a:心を込めて書いたものが相手に与える影響を理解し、作品を作り上げることができる。 b:自他の気持ちを考え、感謝の気持ちや伝えたい思いを、作品を通して表現することができる。 c:主体的に創造的な学習活動に取り組もうとしている。	作品	プリント	振り返りプリント 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度